

発行
四国三十六不動霊場会
「かんまん」編集委員会

メール
sikoku36fudo@gmail.com

ホームページ
<http://sikoku36fudo.org/>

かんまん

題字：三宅 佳林

四国三十六不動霊場広報誌

目次
1P 行事案内・会長挨拶
2P 火祭り報告
3P・4P 寺院紹介・巡拝感想 新任先達紹介・編集 後記

※各行事につきましては詳細が決まり次第ホームページに詳細を掲載しております。時間等はそちらをご参照ください。

※各行事につきましては詳細が決まり次第ホームページに詳細を掲載しております。時間等はそちらをご参照ください。

六波羅蜜修行推進先達講習会	
日時	令和五年五月予定
場所	未定

行事案内

令和五年不動の火祭り

日時 令和五年三月四日（土）

場所 四国八十八カ所霊場

第七十五番 総本山善通寺

※参拝形式については追ってホームページで公開します。

靈場会長 荒井 浩忍
(第二十二番 興隆寺院家)

不動霊場先達また ご参拝の皆様へ



合掌

ます。 沢山の方々が楽しみにされておりましたので、残念になりましたが、先達様・参拝者様・霊場の皆様のお体の事を考慮してこのようない判断となりました。 来年（令和五年）は、善通寺様での火祭りを厳修できるよう日々準備を進めておりますのでご期待ください。 このような時代にも関わらず清く快諾して頂けました善通寺様には靈場会一同深く感謝申上げます。 寒くなつてきておりますので、風邪など体調を崩さないようお過ごしくださいませ。

鋭く風が横切り青葉は人々の心のように変わりゆく季節と時代の変化を感じ、長くまた短い一年という時が過ぎようとしておりります。 三十六不動霊場も良い変化をして行く道半ばではござりますが、どうか温かい目で見守つて頂ければ幸いでございます。

今年こそはと思い靈場会一同、大祭を執り行おうと動いておりましたが新型コロナウイルスの猛威が収まることがなく中止となってしまったことお詫び申し上げ

お不動様とご縁を戴きましたのは、今から二十年近く昔。童学寺で一人でお参りをしていた時、珍しい模様のお袈裟をつけられた先達さんにお目にかかりました。

そのお袈裟が四国三十六不動霊場会公認先達用だったのです。お会いした先達さんのご縁で、四国三十六不動霊場へも足を運ぶようになります。

そんなある日、大窪寺で柴燈護摩供が勤修されるのを知りお参りしました。その時に一人の行者さんからお声をかけられ「八栗に来ないか・・・」と、それ以来お参りをさせて戴いています。

その当時より勝手に「師匠さん」と言っていますが、「一緒に参りするだけで、師匠ではない」と言われます。

八栗寺は、ご本尊聖観音菩薩様

お不動様とご縁を戴きましたのは、今から二十年近く昔。童学寺で一人でお参りをしていた時、珍しい模様のお袈裟をつけられた先達さんにお目にかかりました。

そのお袈裟が四国三十六不動霊場会公認先達用だったのです。お会いした先達さんのご縁で、四国三十六不動霊場へも足を運ぶようになります。

川田周子
神も仏も皆同じ

川田周子

巡拝感想

（以下様を略称）、弘法大師、歓喜天、讃岐産大天狗の中将坊、三社の金時不動尊、毘沙門天、蔵王権現、八大龍王等と沢山の神仏様がお祀りされています。

皆様方の中にも、お不動様、お大師様、觀音様等にご利益を授かった方がいらっしゃると思います。

私は、令和三年七月びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫という病気になりました。意識不明のまま、救急車で香川大学医学部附属病院に入院。

五～六時間かけて第三、第四胸椎を切除したその後遅く、肩と胸の一部しか見えないとつもなく大きな胸の真っ白いキラキラと輝く、カラスの濡れ小羽色の天狗（中将坊様）が現れました。

包帯に巻かれた小指位の小さな私を抱いて、「大丈夫だよー」とお声をかけて下さり、一命を取り留めることができました。

放射線治療も何度も受け、当時は要介護5でしたが、今は2まで快復し、八栗寺にもお参りが出来るようになりました。

朝夕の神仏様へのお勤め、先祖供

神寶 正守	・ 渡邊 秀郎
丸山 礼子	・ 丸山 英生
松崎 忠彦	・ 奥谷 明広
岩田 忠夫	・ 目羅 君枝 幸子
田邊 静江	・ 中川 康彦
城戸 洋子	・ 石井 徹
井上 亜矢子	・ 加藤 京子
小松 史典	・ 山木 誠一

新任先達紹介

合掌

「かんまん編集委員会」

三番最明寺・七番福性寺・十三番密嚴寺

養は欠かさず行い、只ひたすら手を合わす日々を過ごしています。
お一人でも多くの方々が、神仏様とご縁を結ばれますようご祈願させて戴きますと共に、信仰にお導き下さいました師匠さんをはじめ、多くの先輩の方々、お友達に心より感謝を申し上げ筆を置かせて戴きます。

さつた師匠さんをはじめ、多くの先輩の方々、お友達に心より感謝を申し上げ筆を置かせて戴きます。

令和4年11月1日発行

事務局

胸飾玉・念珠玉の親玉（不動玉）授与所
は、令和2年10月より下記札所に変更となっておりますのでご注意ください。
第23番 極楽寺（靈場会事務局）
TEL 0897-59-0011
先達関係のお問い合わせ（補任・住所変更など）は下記までお願いします。
第2番 明王院（靈場会先達事務）
TEL 088-35-3010

編集後記

巡拝感想並びに功德体験を募集しております。是非貴重な体験をメールでお聞かせください。募集させて頂いた内容はこのページに掲載させて頂きます。

sikoku36fudo@gmail.com

令和4年11月1日発行

合掌

- 1 -

不動の火祭り

令和四年三月三日(木)に会場

第二十九番札所 本山寺(香川県
三豊市豊中町本山甲一四四五)に

て行いました。

今年も、新型コロナウイルスの影響により去年に引き続き無参拝での実施となりました。また、ライブ配信は行えませんでしたが、後日録画をYOUTUBEにて公開させていただきました。本来はたくさんの方々に参拝していただく予定でございましたが、録画された動画を通じて多くの方に不動の火祭りをご覧頂く事が出来たかと思います。新型コロナウイルスの収束を心からお祈り申し上げ、さらには皆様の健康を祈念しての法要を寺院・行者・実行委員会所属の先達のみで行わさせていただきました。

ご協力いただきました皆様、有り難うございました。

寺院紹介

第二番 明王院 (高野山真言宗)

第08号

当山は、天長年間（八三〇年頃）弘法大師が四国各地巡錫の折に吉野川の川辺に小堂を建てたのがその始まりと伝わる一方、聖徳太子が建立されたという説もある古刹です。往時の堂宇は現在より南の入道塚と呼ばれた吉野川の中州にありました。本尊は不動明王と阿弥陀如来であり古くから信仰を集め、室町期には阿波国の守護である細川氏の祈願所となり門前町が栄えるほどでした。

しかし、天文十三年（一五四三年）吉野川の洪水により伽藍堂宇は悉く流れました。その後元和四年（一六二二年）現在の地に明王院は再建、中本寺の格式を与えられ阿波麻植両郡の末寺十六ヶ寺を統括すること

となりました。

近年では、平成元年に本堂、平成十五年に方丈庫裏が改築され境内が整備されています。四国三十六不動霊場の火祭りも平成十六年、平成二十九年に執行されました。

さて、当山本尊の不動明王には「鼠不動」という別名があります。歴代住職の言い伝えによると、米を食い荒らすネズミを追い払ってくれる力をお持ちになつてているそうです。洪水や飢饉に苦しめられた人々の豊作への切なる願いがこの「鼠不動」という別名にこめられているのではないかでしょうか。

合掌



本尊不動明王
(不動霊場開創時のパンフレット表紙に掲載)



本堂(不動堂)



平成二十九年不動の火祭り

第08号

第08号

チャンネル登録はこちら



「四国三十六不動霊場」で検索

火祭りの録画はこちら



<https://youtu.be/pLEpw5A6qmo>



柴燈護摩の様子



集合写真



本山寺住職挨拶



式衆の様子

録画した動画につきましては、左のQRコードもしくは、URLにご覧頂けます。YOUTUBEのチャンネルの登録もよろしくお願ひいたします。